

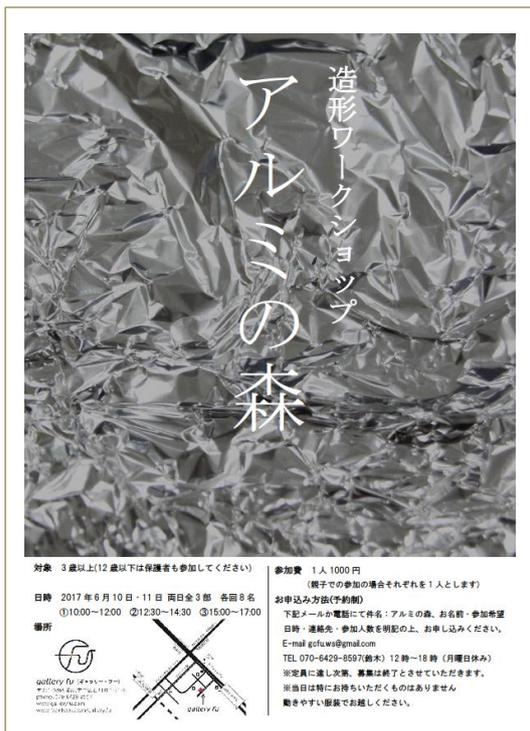
アルミホイルを使った子ども向けワークショップに協賛しました！

2017年6月10日(土)・11日(日)の2日間に亘り、ギャラリー・フー（横浜市中区石川町）において、「アルミの森」と称する子ども向けワークショップが開催されました。このワークショップは、横浜国立大学が主催となって開催されたもので、当協会にアルミホイルの提供依頼があり、東洋アルミニウム(株)様と(株)UACJ製箔様にご協力賜りました。

当協会は子ども向け冊子「アルミ！なるほどミュージアム」と各種ノベルティグッズ（フリクションボールペン、メモ帳、トートバッグ）をお土産として提供致しました。開催概要は以下の通りです。

1. 主 催：横浜国立大学
2. 講 師：轟 颯馬氏（横浜国立大学教育学部大学院生）
3. 協 賛：東洋アルミニウム(株) (<http://www.toyal.co.jp/>)
 (株)UACJ製箔 (<http://ufo.uacj-group.com/>)、当協会
4. 場 所：ギャラリー・フー（横浜市中区石川町）*JR根岸線石川町駅より徒歩5分
5. 対 象：3歳以上（12歳以下は保護者同伴）
6. 名 称：アルミの森

※アルミホイルを素材とした、空間全体を作品とした造形ワークショップ



パンフレット（表面）



パンフレット（裏面）

カフェ風のワークショップの会場は約20m²（4m×5m）のスペースがあり、壁一面と床にアルミ色をしたマットが貼られていました。この空間の中で、今回のイベントを企画した横浜国立大学大学院の轟さんが、参加した子ども達（小学校1～2年生）にアルミホイルを使った作品の作り方や、アルミホイルを取り扱う際の注意事項などを説明してから作品作りがスタートしました。

スケジュール

- ・導 入：アルミホイルの配布とワークショップの主旨の説明（10分）
- ・展 開：アルミホイルによる造形、装飾によって非日常的な空間をつくる（90分）
- ・まとめ：できた空間（作品）を鑑賞して記念撮影。アンケート回答（20分）

何をつくるか具体的なテーマを与えられていなかったもので、はじめは何を作ったらよいか戸惑う子もいましたが、30分も経つ頃から自由に思い思いの作品を作り始め、女の子は蝶々や首飾り、男の子は飛行機や、今の時代を反映してか監視カメラをつくったりしていました。



講師の轟氏と参加した子ども達



作品づくりに熱中する子ども達①



作品づくりに熱中する子ども達②



子ども達の作品①



子ども達の作品②



最終日の会場の風景

終了時間が過ぎても、子ども達が熱中してアルミホイルを触り続けていたのが印象的でした。アルミホイルが調理だけでなく、子どもの情操教育にも役立つことを実感した次第です。

作品作りが終わった後、子ども達と保護者の方にアンケートを書いてもらい、当協会で提供したノベルティグッズ（フリクションボールペン、メモ帳、トートバッグ）をお土産として渡しました。

子ども達に怪我のないよう、プラスチックの手袋を用意するなど安全面にも配慮したお陰で無事に終了の運びとなりました。

今回、アルミホイルを提供頂いた東洋アルミニウム㈱様、㈱UACJ製箔様には厚く御礼申し上げます。

当協会は、アルミニウムの魅力を身近に感じてもらえる活動に協賛しております。アルミニウムを使ったイベント等の企画・アイデアなどございましたら、下記宛にご相談下さい。

*本件の問合せ先：(一社)日本アルミニウム協会 担当 飯田まで<電話：03-3538-0221>

以 上